



Detection of highly abundant small molecules in the stratum corneum of healthy young women using desorption electrospray ionization-mass spectrometry imaging

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学 公開日: 2022-10-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: WALIULLAH, A.S.M. メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/00004192

論文審査の結果の要旨

ヒト皮膚は、いわゆる老化（エイジング）により変化をするが、その根本的かつ物質的な指標については未知の部分が多い。申請者は、20代、30代の若い女性と、やや年長の参加者を対象にして、セロハンテープで皮膚の角層を採取し、その検体を質量顕微鏡で観察することにより、若年層の皮膚により多く存在する物質を数個同定した。これらのいくつかを、同一人で、セロハンテープで4回採取するという方法で確認すると、回数により減っていくつまり、深部には少ない物質あるいはあまり変わらない物質があることを同定した。

これらの物質は、特許申請中のため、明示はされていないものの、いままで曖昧な表現をされていた“若々しい皮膚”の指標のひとつとして、医学や美容学において今後大いに活用されると考えられた。

症例数がやや少なく、同一人の多数の部位の検索、さらに、各参加者の日常におこなっているスキンケアの種類や程度など詰めるべき課題は多くあり、審査委員会でも指摘、議論があったが、申請者はこれらの問題点を理解しており、さらに研究を進展させるという。また、非常に軽微な侵襲と、個人の肌の情報がわかるという部分の同意取得や説明など医学研究における倫理についても十分理解していた。

これらの内容、将来の発展性、実用性、さらに特許取得に向けた過程などを加味し、審査委員会では博士（医学）にふさわしい成果であると判定した。以上により、本論文は博士（医学）の学位の授与にふさわしいと審査員全員一致で評価した。

論文審査担当者

主査 梶村 春彦

副査 才津 浩智

副査 藤本 忠蔵